

議会だより

令和3年

第62号

2月12日発行



ガラス越しでも心は密に

新型コロナウイルス感染症の確認から1年が経過した。終息の兆しが一向に見えない中、医療機関などでは「3密」を避けるなど対応が続けている。特別養護老人ホーム桃源郷では、入所者と家族がガラス越しに面会する。触れ合えずとも心はつながっている。(写真提供＝桃源郷)

Contents

- 組織再編で行政のスリム化を ②
- 町政を問う（一般質問）④～⑩
- 「請願」「陳情」って何？ ⑪
- 委員会の審査報告 ⑫

12月の一般質問は…

県道葛輪瀬戸線の復旧見通しは（前田 穂）

獅子島架橋 今後の取り組みは（池田 安彦）

自衛隊防衛施設誘致の是非は（林 誠治）

新型コロナ対策は（上筋 睦雄）

不妊治療に助成を（古田 一博）

消防分遣所を消防署に（竹山 司郎）

4月から水産商工課・景観推進課↓水産景観課、農林課↓農政課、耕地課↓耕地林務課

組織再編で行政のスリム化を

令和2年第3回長島町議会臨時会が11月30日開かれた。

人事院および鹿児島県人事委員会の勧告に基づき職員などの期末手当を0・05月分引き下げる条例改正など議案3件、発委1件を審議し原案のとおり可決した。

令和2年第4回長島町議会定例会が12月4日から14日まで11日間の日程で開かれた。人事異動に伴う人件費補正などを盛り込んだ令和2年度一般会計補正予算（7439万7千円追加、総額145億6707万2千円）など議案24件を、審議、協議した結果、全予算案を原案のとおり可決した。

政組織機構に伴い事業課などの再編に係る課設置条例を改正する議案や、山門野自治公民館から要望のあった山門野コミュニティセンターを同自治公民館に無償譲渡する議案など。

このほか、獅子島一周林道を県道に昇格し、県で整備・管理を行い産業や観光の振興を図ることを目的とするなどの陳情3件を採択、町勢発展や地域振興活性化などを目的に自衛隊防衛施設を町内に誘致するよう求める請願1件を趣旨採択した。

また、太陽の里や温泉施設などの観光施設について審議する長島町議会観光施設調査特別委員会を設置した。

主な事業費（単位：千円）

- 黒崎空中展望所改修に係る工事請負費・・・ 5,896
- 一般被保険者高額療養費の保険者負担金・・・ 6,557
- 障害福祉サービス給付費・・・ 7,236
- 介護保険制度改正に伴うシステム改修料・・・ 1,694
- 令和元年度地域支援事業・介護給付費清算還付金・・・ 16,960
- 7月豪雨被災農業者経営支援補助金・・・ 37,599
- 川床地区、浦底地区の農道舗装・・・ 10,000
- 中学校教師用教科書、指導書購入経費・・・ 5,707
- ひとり親世帯臨時特別給付金給付事業費（再支給分）・・・ 8,670

総額145億6707万2千円
（7439万7千円追加）



手すりなどを改修する黒崎空中展望所（獅子島）

臨時会で決まったこと

校務支援システムに伴う備品購入契約を締結

小中学校の教職員が使用する校務支援、共有システムに係る備品を購入する。

納期は令和3年1月29日まで。2362万8千円で、(株)南日本情報処理センターと契約締結。

職員・町長などのボーナスを引き下げ

人事院、県人事委員会の勧告に基づき、職員や町長などの期末手当（ボーナス）を0・05月引き下げた。令和2年度は12月で0・05月、令和3年度からは6月と12月で、それぞれ0・025月を引き下げる。

議員報酬についても同様の引き下げを行う発委が、議会運営委員会から提出され可決した。

組織再編に向け改修が進む庁舎



定例会で決まったこと

北薩広域行政事務組合の事務所位置を変更

出水市野田支所内にある北薩広域行政事務組合事務所が、新設の新焼却施設内（同市野田町上名）に移転することにより事務所位置が変更となるため、同組合規約の一部を改正。

市町村総合事務組合の団体数が減少

大島農業共済事務組合の解散に伴い、鹿児島県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少と同組合規約の一部を変更。

新町まちづくり計画を変更

東日本大震災に伴う合併市町村に係る地方債の特例に関する法律の一部改正により、合併特例債を起すことができる期間が5年間延長されたことに伴い、市町村建設計画（新町まちづくり計画）の一部を変更。

新たに基金条例を制定

町有施設の整備事業に必要な経費の財源に充てる基金を設置するため、「長島町電源立地地域対策補助金事業基金条例」を制定。

種苗センターの指定管理に向けて条例改正

長島町水産種苗供給施設（種苗センター＝薄井）の運営を、4月から指定管理で行うことを目的に、長島町水産種苗供給施設の設置及び管理に関する条例の全部を改正。



指定管理に向けて条例改正した種苗センター

水産商工課と景観推進課を「水産景観課」に

役場庁舎の本所支所方式に伴い、行政組織機構を再編し、多様化する業務や住民ニーズに対応するため、長島町課設置条例の一部を改正。

水産商工課、耕地課、農林課、景観推進課を再編し、4月から「水産景観課」「農政課」「耕地林務課」に改める。

指定管理から集落運営へ

山門野自治公民館から山門野コミュニティセンターの無償譲渡申請があり、同公民館へ無償譲渡するため、長島町コミュニティ施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正し、無償譲渡する提案を可決した。



改修工事が完了した山門野コミュニティセンターを調査する総務民生常任委員会の委員

医療費の現物支給 高校生まで拡充

鹿児島県が令和3年4月から子ども医療費の現物支給を、「住民税非課税世帯の未就学児」から「住民税非課税世帯の高校生」まで拡充することに伴い、長島町子ども医療費助成条例の一部を改正。

白浜漁港の埋め立てが完了

獅子島地区の白浜漁港公有水面埋め立てに関する工事について、しゅん功認可があったため、これを新たに生じた土地として確認し、新たな土地として字の区域を変更した。

工事のしゅん工に伴い 字の区域を変更

中山間地域総合整備事業長島西部地区（広野）に関する工事のしゅん工に伴い字の区域を変更した。

同事業で、ほ場整備をした際、該当の土地を整備区域内に取り込んだことの換地により字の区域が変更した。

一般質問

町政を問う

1 前田 穂（5ページ）

- ・ 県道葛輪瀬戸線復旧の見通しは
- ・ 獅子島架橋基金 有効的な活用を

2 池田 安彦（6ページ）

- ・ 獅子島架橋 今後の取り組みは
- ・ 救急救命艇の検討結果は

3 林 誠治（7ページ）

- ・ 農道広島線の改良を
- ・ 自衛隊防衛施設誘致の是非は

4 上筋 睦雄（8ページ）

- ・ 新型コロナの現状は
- ・ 教育の情報化を
- ・ 再生可能エネルギーの取り組みは

5 古田 一博（9ページ）

- ・ 特定不妊治療に助成を

6 竹山 司郎（10ページ）

- ・ 分遣所を消防署に
- ・ プレミアム商品券の取り扱いは
- ・ ブルーライト対策を

一般質問とは…

各議員が住民の代表として、町の行財政全般にわたり、事務の執行状況や将来に対する方針を聞き、町当局の考え方や疑問をたずねること。

単に疑問をはらし、事実関係

を明らかにするだけではなく、現行政策の見直しや新規政策を提言するなど、議員の重要な活動である。

令和2年第4回定例会（12月）では次の6人の議員が質問した。

県道葛輪瀬戸線 復旧の見通しは

答

工法を検討中。
早急な通行止め解除に努める

前田 穂議員



豪雨で被災した県道（本浦地内）の復旧見通しは

前田 現状と今後の復旧の見通しは。信号機による片側交互通行は



大型土のうで補強された県道葛輪瀬戸線（上）と通行止めを示す看板

できないか。

町長 利用者に大変不便を来していると思われる。現状は、豪雨により道路のり面の亀裂や側溝のせり上がり、地滑りの兆候が発生。

被害拡大の危険性があることから全面通行止めとし、大型土のうの盛り土工事を実施し、地質調査、測量設計を発注した。現在、地質調査は完了。地滑り対策工法のための観測中である。

復旧の見通しは調査観測後、復旧工法が決まり次第実施する。今

のところ完了時期は未定。

信号機による片側交互通行への移行は、地滑りの観測中であるため通行車両の安全を考慮し引き続き全面通行止めとする。県と連携し早急な通行止め解除に努めたい。

獅子島架橋基金の有効的な活用は

前田 獅子島架橋はどの事業で推進するのか。事業推進のため基礎調査や計画設計、PR動画などの作成はできないか。今後基金の最終目標額は。

町長 夢追いの思いは同じである。これまでには社会資本整備総合交付金による町道整備で推進してきたが、県道改良事業の可能性について調査を開始した。

基礎調査や計画設計、PR動画については、架橋建設を推進するため、より具体的な事業費の算定や新聞へのPR広告などが必要で、その財源として、提案のとおり基金を活用することは、やぶさかでない。

基金の最終目標は当初、総事業費400億円、国庫補助金が65%、260億円。地元負担金が140億円となり、辺地債を活用した場合、28億円が必

解説
夢追い獅子島架橋基金
獅子島架橋実現に向け町が負担すべき経費を積み立てる基金。ふるさと納税などの寄附金が主な財源。

要と算定。県道事業で採択していただければ地元負担金が少なく済み、最終積立額を変更することになる見込みである。今後の架橋推進のためには、町民はもちろん県民の理解が必要となる。



獅子島と本島を結ぶフェリーは島民の「足」

池田 安彦議員



獅子島架橋実現に向けた 今後の取り組みは

答 県道改良事業で進めたい

獅子島架橋建設の
経緯は

池田 獅子島架橋建設については、平成6年12月に獅子島架橋建設促進期成会が発足して以来、国会議員や県知事への要望などさまざまな活動を実施しているが、これまでの経緯は。

町長 当初は、農道橋で建設予定であった。その間、国や県への陳情活動を続けてき

たが、農道橋に対する理解が得られなかったため、町道による建設計画に切り替えて、平成24年度から夢追い獅子島架橋基金を積み立て、運動に取り組んでいる。

今後の取り組みは

池田 甕大橋（薩摩川内市甕島）が令和2年8月29日に開通したので、今が獅子島架橋建設をアピールする絶好の機会ではないか。

「甕島の次は獅子島に」という機運を高め、架橋建設を強く望む獅子島島民の思いを知っていただけるような活動を展開しては。

町長 開通した甕大橋の情報などによれば、県道改良事業であれば、町道改良事業よりも地元負担金が少なくなることから県道改良事業で進めたい。架橋基金の積極的な活用も考えていきたい。



甕大橋開通を記念した記事(南日本新聞社提供)

救急救命艇の導入はできないか

池田 獅子島島民は離島がゆえに救急患者の搬送に不安を持っている。そこで、救急救命艇の導入はできないか2年前に一度質問した。そのときは、財源や部署の設置、職員配置など、いろいろな問題点があるので研究したいとの町長の答弁であった。

県内でも奄美大島の瀬戸内町が導入してい

町長 投資的な経費は、特定離島ふることおこし推進事業の枠で配分をするかといったような問題、それからランニングコストや利用者数などの問題を引き続き研究し、財政状況を見ながら検討していく。



瀬戸内町に導入されている救命艇「おおとり」

農道がダメなら町道に変更しては

答 新たな事業、ルートや財源を研究する

自衛隊防衛施設誘致は

答 町の活性化の起爆剤として期待できる

林 誠治 議員



**農道広島線の早期
拡幅改良を**

林 農道広島線は、だんだん市場入り口から町道小島加世堂線に接

続し、火ノ浦集落の東西をつなぐ重要な農道兼生活道路であるが、急カーブ、急勾配が多く、農作物の運搬や離合などに支障を来している。

また、令和2年7月豪雨時は県道葛輪瀬戸線の火ノ浦地内の路面決壊が発生、代替迂回

道路として利用していたが、交通安全上の危険を憂慮する地区住民は早期改良を強く要望している。

町長 農道は、安定した農業経営の確立のため計画するが、当地域は農業農村事業の採択要件である受益面積30畝以上ない。

また、農道整備事業では、生活道路、災害避難の代替道路目的での整備は難しいので、他の事業などの研究が必要である。



狭あいで急カーブが多い農道広島線

**農道から町道に格
上げして整備はで
きないか**

林 現在計画中の町道小島加世堂線を延長し、だんだん市場入り口までを町道に変更し一体的に整備できないか。

町長 新たな長島東海岸広域産業観光ルートや代替道路として、既存の町道を含めた路線での整備手法などを主管課に指示している。

**長島町における自
衛隊防衛施設誘致
の是非**

林 町内有志が発起人となり「長島町自衛隊防衛施設誘致推進協議会」が設立された。

自衛隊防衛施設誘致で国の財政支援、付加価値的に人口・税収増、商工振興、災害時の防

災拠点につながるとして、町や議会に請願書が提出されている。

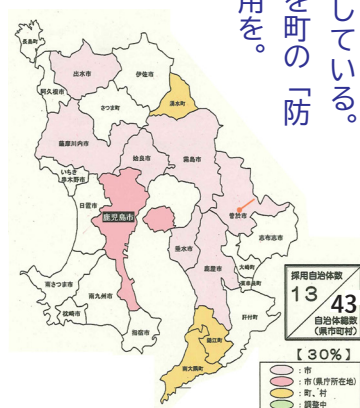
他自治体でも誘致推進の動きが報道されているが、町長の基本姿勢は。

町長 自衛隊施設誘致のメリット、デメリットを町民、推進協議会と議論を深めていく。町活性化の起爆剤の期待は大きい。

退職自衛官を町の防災監に

町長 人件費の交付税措置などもあるので検討する。

林 危機管理体制強化のため、県内43市町村のうち13自治体で防災のエキスパートである退職自衛官等を防災監として採用している。退職自衛官を町の「防災監」に採用を。



県内の防災職配置図(離島を除く)



令和2年11月、長島町自衛隊防衛施設誘致推進協議会が設立した

上筋 睦雄議員



PCR・抗体検査は

答 態勢が整い次第実施する

新型コロナウイルスの現状は

上筋 新型コロナウイルス感染症の不安を払しょくするための施策、PCR検査・抗体検査は。

町長 抗原定量検査を態勢が整い次第実施する。

上筋 医療関係者の充足、入院設備などは。

町長 町内に感染症病床はない。他の地域に

搬送する。

上筋 感染者の家族などの対応マニュアルは。

町長 マニュアルは作成されていない。

上筋 感染症関連の救済支援金によるプレミアム商品券の取り扱いについては、困窮者救済の目的からやや逸脱したのでは。

町長 目的を2億円の経済効果とした。次があれば、問題点なども考慮する。

教育の情報化を

上筋 「長島町学校教育情報化推進計画」の進捗状況は。

教育長 鹿児島県が計画を策定次第進める。

上筋 情報化教育を保護者などにも普及させるための方策は。

教育長 保護者、学校運営協議会、教育委員会の授業参観は、県民週間などでの参観を想定している。

再エネ、行政課題への取り組みは

上筋 再生可能エネルギー発電は、脱炭素社会実現の必須事業、町の取り組みは。

町長 発電能力が不安定、町内に高圧電氣を利用する事業者がないことから、町営の電氣事業は厳しい、潮流発電実証事業の提案も、町の援助2億円が必要とのことで断った。

上筋 長崎県五島市では、洋上風力・潮力発電、電力を利用した水

素製造事業その他、行政と地元企業が一体となり自然エネルギーや新産業開発に取り組み成果を得ている。

町長 本町も西側の海域や海岸は風が強いので、利用できるのではと期待している。

上筋 縦割り組織の見直し、既得権益の排除、悪しき前例主義の撤廃など行政課題への取り組みは。

町長 行政改革推進本部を中心に取り組んでいる。既得権益、悪しき前例があると、具体的に指摘があれば検討する。

上筋 縦割り行政の改革として熊本県の御所浦島・水俣間の航路に獅子島を含めると便数を増やすことができると。また原発が近いことから、原発避難道路などということ国に要求することも可能だと提案する。



自然エネルギー開発のイメージ図

不妊治療に助成を

答 検討し研究を進める

特定不妊治療に
助成を

療の保険適用を早急に
実現する」と改めて強
調した。

医療機関への交通
費を含めた助成を

古田 平成26年12月議
会で、少子化対策の一
つに特定不妊治療の支
援について質問した。

不妊治療のメンタル
ケアについては、その
後どのようなになった
か、現状と今後の取り
組みは。

古田 鹿児島県内の医
療機関は、鹿児島市や
始良市を中心に7カ所
しかない。また口コミ
により県外へ治療に行
く人もいる。

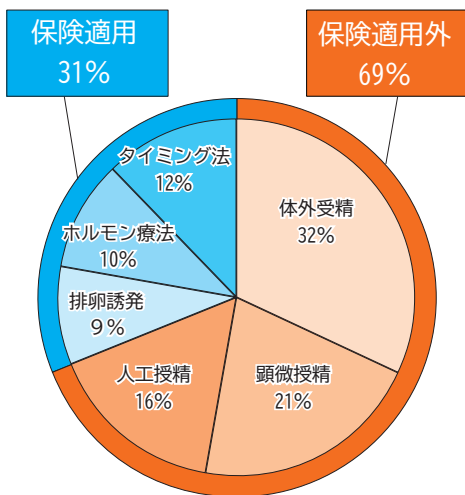
保険適用がなく経済
的負担が大きいため、
2人目以降の出産をあ
きらめる人が多いとの
ことであった。町長は
27年度から2人目以降
の助成を実施した。

町長 不妊症の検査
や治療に関する相談
は、保健師が電話や直
接面談を受け付けてい
る。今後も、相談者の
意向を尊重し、プライ
バシーに配慮して寄り
添って対応していく。

不妊治療は長引けば
長引くほど、精神的、
肉体的、金銭的にも負
担が大きくなる。

国会では令和2年9
月、菅総理が社会保障
分野で、最初に少子化
対策に言及し「不妊治

療の保険適用がないた
め、一回の治療でも数
十万円かかる。治療が
始まってから終わるま
では数百万円と経済



長島町エンジェル支援事業
治療法割合
(平成18年度～令和2年3月末現在)

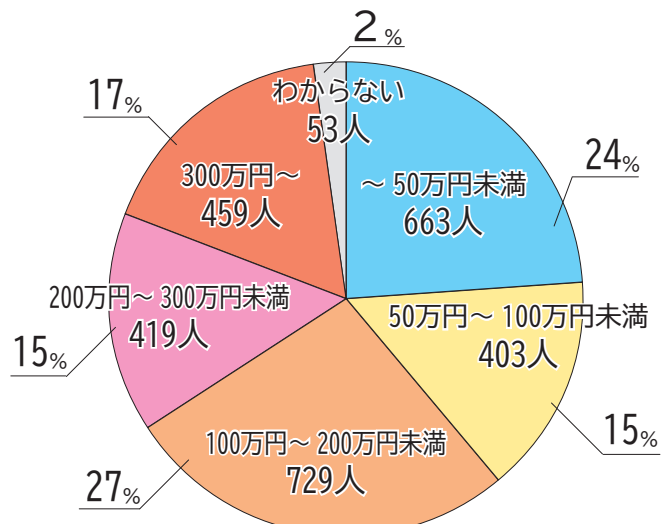
町長 交通費の助成に
ついては、獅子島地区
の住民には、フェリー
代と宿泊費の助成を実
施し、本島地区には現

このことから交通費
を含めた助成を早急に
検討し改善を図り、実
施に踏み切るべきでは
ないか。

的負担が大きい。

在助成していない。
今後、治療する機関
が鹿児島市や始良市、
熊本市、北九州市など
遠方であることを考え
ると、負担が大きいた
め、医療保険が適用さ
れるまでには、何らか
の助成ができるように
検討し研究していく。

通院開始からの治療費総額



NPO法人「Fine」調査2018年（回答者数、回答数：2,726人）



分遣所を消防署にできないか

答

財政基盤が弱いため
単独での設置は厳しい

東・長島分遣所を
長島消防署に

竹山 分遣所所長は、係長止まりである。消防署にすれば、所長が課長級になるので、あとの消防士も役場職員と同様に勤務年数で変わってくるのではないかと。給与についても差が出ている。給与は生活に直結し、退職金にも差が出てくる。役場職員との差をなくするため

に分遣所を消防署へ改
革できないか。

町長 消防署は現場隊
員とは別に事務を行う
職員が必要となる。

経営的に財政基盤の
弱い町村では、単独で
の消防署設置は厳し
い。

救急救命士に手当を
女性消防士の採用を

竹山 救急搬送に手当
を支給する考えは。

町長 県内20の消防組
合本部のうち救急救命
行為を行った場合に4
00円程度の手当を支
給している組織は5消
防あるが、消防職員業
務の一環という理由か
ら削減傾向にある。
本町においては支給
する考えはない。

竹山 長島においては
施設（分遣所）が整備
されている。女性消防
士を採用する考えは。

町長 女性へも門戸を
開いた採用を行ってい
る。



プレミアム商品券
町民からの苦情は

竹山 今回の商品券に
ついては町民からの苦
情が多かったが、国の
第3次補正予算が出る
場合は町内の全世帯に
各公民館を通して配布
したらいのではない
か。そうすれば苦情は
ないのではないか。

町長 1回目の発売
は、全世帯購入できる
よう対策を講じた。2
億円の経済効果を得る
ため予定数を完売して
おり、一定の評価をし
ている。第3次補正予
算は、国の動向を見な
がら対応する。

ブルーライトカッ
ト眼鏡の配布を

竹山 タブレットから
出るブルーライトが目
に負担がかかるという
ことを聞いた。ブルー
ライトをカットする眼
鏡を配布できないか。

教育長 一人1台のタ
ブレットパソコン整備
を令和3年3月10日を
納入期限に、中学校
で957台を購入す
る。

学校における利用時
間の目安を教職員と連

携を図りながら、活用
していきたいと考えて
いる。
ブルーライトカット
眼鏡の購入について
は、財政負担も大きく
なることから、児童生
徒への健康状況に注視
しながら適切な使用管
理方法を調査・研究す
る。

解説

ブルーライト

人間の目で見ること
のできる光（可視光線）
の中で、もつとも波長
が短く、強いエネル
ギーを持つ紫から青色
に見える光。パソコン
やスマートフォンなど
のLEDディスプレイ
などに多く含まれる。

請願？
陳情？



今さら聞けない？ 議会のなぜ？何？

今回は、請願・陳情について紹介します。

令和2年第4回定例会では、請願1件、陳情3件が上程され、各常任委員会が審議されました。

請願とは、憲法に規定された国民の権利として、公の機関に対して要望を述べる行為をいいます。

請願の対象となる事項は国や地方公共団体などの公権力の行使によって受けた被害の救済や公務員の罷免、法律や政令、条例、規則の制定・改廃など国・地方公共団体の事務に関するすべての事項が含まれます。



請願の紹介と受理

町議会へは、請願の「趣旨」、「提出年月日」、請願者の「住所・氏名」を記載し押印した文書を提出します。

議会に提出する場合、議員の「紹介」が必要です。紹介とは、請願内容に賛意を表し、議会への橋渡しをすることをいいます。

議会の開会中・閉会中を問わず所定の要件を備えた請願書が提出されると、議長はこれを受理しなければなりません。

委員会付託

議会における請願の審査は、住民から提出される具体の要望であるという特殊性から、常任委員会または議会運営委員

会に付託することが原則となっています。

委員会審査と議決

委員会では、紹介議員から請願内容と理由を聞き、質疑、討論、表決の順に審査を行います。

委員会は審査の結果を「採択すべきもの」「あるいは「不採択とすべきもの」に区分して議長に報告します。

委員会からの報告を受け、議会において「採択」または「不採択」の議決を得ます。



採択の判断基準

採択にあたっては、一般的に「願意が妥当であるか」、次に「実現性の可能性があるか」、さらに「町の権限、議会の権限事項に属する事項であるか」といったことが判断基準とされています。

願意の妥当性

法令上あるいは公益上の見地から見て合理的なもの。

実現性の可能性

その緊急性や重要性、財政事情などから見て、ごく近い将来、実現の可能性のあるもの。

請願の効力

「請願の採択」とは、議会が請願内容に賛成であるという意思表示ですが、その願意の実現について法律上は何らの保障規定はありません。

陳情その他

「陳情」とは、特定の事項についての利害関係を有する住民が、官公署にその実情を訴え、当局の適切な措置を要望する行為をいいます。

請願権は憲法で保障されていますが、陳情は法的保護を受けるものではありません。

陳情は、文書による提出で、その内容も請願と何ら変わりませんが、議員の紹介が必要ありません。

このほか、嘆願書・要望書・決議書・お願いなどがありますが、これらの取り扱いについては、請願書の例により処理されます。

委員会で詳細にチェック

定例会で提出された議案21件のほか請願1件、陳情3件を二つの常任委員会で審査しました。各委員会の主な審議内容を紹介します。

総務民生常任委員会

委員長 前田 穂

電源立地地域対策補助金事業基金条例の制定

▼企画財政課

Q. 平尾地区の避難施設整備事業の総事業費と工事計画は。

A. 施設のための建築工事費1億2777万8千円で、補助金の1億1149万2千円を積み立てる。

令和4年9月か10月に着工し、令和5年度の完成を目指す。

課設置条例等の一部を改正する条例

▼総務課

Q. 「水産景観課」となっているが、「商工」がなくなった経緯は。

A. 課の再編は各課から1名が参加したワーキンググループで検討し、その後、各所属長で構成する推進本部で協議した結果である。

「水産景観課」として住民への周知を図る。

一般会計補正予算

▼総務課

Q. 消防組合への負担金減額の理由は。

A. 人事異動による人件費の減額である。

▼企画財政課

Q. うんまかデー中止による「特産品PR」の内容は。

A. 例年出席していただく国会議員や関係者がしま会会員へ獅子王フィレを発送する予定である。



中止となったうんまかデー（写真は前年度）

Q. 地域経済循環創造事業交付金の概要は。

A. 申請予定の実施主体「株式会社夢ながしま」が保有する倉庫を加工場に改修し、機械導入を計画。

総事業費の2分の1を公費で補助し、残り2分の1を実施主体が実施する。公費のうち、4分の3が国庫補助、

4分の1が町の補助。

▼福祉事務所

Q. 生活保護の扶助費のうち医療扶助と介護扶助が、現段階で大きな増額となった理由は。

A. 当初予算は令和元年10月時点の生活保護世帯42世帯46人を根拠とした。

令和2年10月時点で、49世帯55人と被保護者の増と入院患者も9人から11人と増えている。

緊急手術や入院などが医療費の増加につながっている。

▼介護環境課

Q. 子ども食堂はどこで実施しているか。

A. 子ども食堂は「ポイントアップ！元気度アップ！推進事業」という事業で、子ども食堂を実施するグループは町内にはない。

国民健康保険特別会計補正予算

Q. 国民健康保険税減免に新型コロナ分の基準と金額は。

A. 減免の基準は、前年度所得の合計が10分の3以上減少することが見込まれることと、前年度所得が1千万円以下であること。

収入減少が見込まれる所得以外の前年度所得が400万円以下であること。減免総額は、29世帯で445万6300円である。

長島町における自衛隊防衛施設の誘致に関する請願書

議員全員の意見を集約する必要があるとの意見から、二つの常任委員会で連合審査会を実施した。

本町の人口減少に歯止めをかけ、商店街の活性化、インフラ整備、災害時の迅速な対応など、地域振興への期待から誘致すべきとの意見であった。

しかし、請願書の内容において、具体的な誘致施設などが見えないため、それらの方向性が見えた段階で検討することが望ましいとの意見や住民への周知がないことから「趣旨採択すべきもの」と決定した。

建設経済文教常任委員会

委員長 小田 勝志



補正予算の内容を審査する委員

が、被害内容は。

A. 長島ファームの豚

舎にあるキュービクル

(高圧受変電設備) 3

台が雨水の流入で破損

した。キュービクル3

台の取替工事のほか、

動力制御盤、分電盤、

配線工事を含む23力所

の電気工事である。

▼建設課

Q. 橋りょうの工事内
容は。

A. 橋りょうの維持補

修で、クラックやコン

クリートの補修、劣化

対策などの工事であ
る。

水産種苗供給施設条例
の全部を改正

▼水産商工課

Q. 種苗センターの全
体を修繕する金額を把
握しているか。

A. 全体の把握はして

おり、緊急を要する箇

所は指定管理開始まで

に修繕し、その他は年
次的に行う。

陳情3件を採択

次の陳情3件は「採
択すべきもの」として
決定した。

①商工会に対する令和
3年度補助金に関する
要望書

②特産品の販路開拓支
援事業に関する令和2
年度市町村補助金(補
正予算)・令和3年度
補助金(当初)の要望
書

③獅子島一周林道の県
道昇格に関する陳情書

◎総括意見

総務民生常任委員会

・新鷹巣診療所はバリ
アフリーとなっている
ことから、上履きを廃
止すべきである。

建設経済文教常任委員会

・今年度は災害が多く
発生した。当初予算で
計上した事業や災害復
旧工事などが年度末の
繁忙期に事業が集中し
ないよう繰越制度を活
用し執行するよう願
いしたい。

・マンダリンセンター
に隣接するみかん展示
園など、今後の維持管
理や方向性を決断する
検討委員会などを設置
し協議すべきである。

議会傍聴に 行こう

長島町議会では、傍
聴者を随時受け付けて
います。ぜひ傍聴にお
越しください。

本会議は、町ホーム
ページやスマートフォン、役場ロビーに設置
してあるテレビでもご
覧いただけます。

次の定例会は3月に
開会されます。



一般会計補正予算

▼景観推進課

Q. 城川内ふれあい
パーク整備事業の完成
予定は。

A. 令和3年度である。

▼教育総務課

Q. 各学校でフェイス
シールドなどを購入予
定とあるが、現状はど
のような授業を行っ
ているのか。

▼農林課

Q. 7月豪雨で被害を
受けた農業用施設に、
3726万4千円の補
助金を計上している



現地で詳細を確認する委員

議会のうごき

10月

2日	第2回広報特別委員会（議会だよりNo.61）
8日	出水地域木材利用推進協議会要望活動
16日	鷹巣診療所落成式（鷹巣診療所）
19日	阿久根地区消防組合例月出納検査（阿久根市）
20日	常任委員長研修会（鹿児島市）
21日	令和2年度北薩空港幹線道路整備促進協議会要望（鹿児島市）
21日	北薩広域行政事務組合議会第3回定例会（出水市）
22日	例月現金出納検査 第2回水産種苗センター指定管理者選定委員会（鷹巣）
23日	出水地域開発促進協議会 鹿児島県および鹿児島県議会に対する要望活動（鹿児島市）
27日	県後期高齢者医療広域連合例月現金出納検査（鹿児島市）
28日	出水地域開発促進協議会九州地方整備局要望（福岡市）
9～13日	監査委員による定期監査
10～11日	南九州西回り自動車道建設促進大会および要望活動（東京都）
16日	令和2年度県後期高齢者医療広域連合議会全議員協議会・議員研修会（鹿児島市）
18日	県後期高齢者医療広域連合例月現金出納検査（鹿児島市）

11月

19日	議会運営委員会（第3回臨時会のため）
20日	例月現金出納検査
21日	知事とのふれあい対話（文化ホール）
24日	長島町地域密着型サービス運営委員会（鷹巣）
24～26日	第64回町村議会議長会全国大会（東京都）
24日	鹿児島いずみ農協果実選果場竣工式（出水市）
27日	阿久根地区消防組合例月出納検査（阿久根市）
27日	第3回臨時会
30日	議会運営委員会（第4回定例会のため）
2日	県町村議会議長会第2回監事会・第3回理事会（鹿児島市）
11日	県原子力防災センターにおける意見交換会（テレビ会議）
4～14日	第4回定例会
4日	第10回全員協議会
7日	第11回全員協議会
14日	第12回全員協議会
15日	県後期高齢者医療広域連合例月現金出納検査（鹿児島市）
21日	例月現金出納検査
22日	第2回長島町観光施設特別会計検討委員会（鷹巣）
23日	第1回観光施設調査特別委員会（鷹巣）
24日	北薩広域行政事務組合議会第4回定例会（出水市）
25日	阿久根地区消防組合議会定例会（阿久根市）

12月



新年を迎え、謹んで初春のお喜びを申し上げます。

新型コロナウイルス第三波が猛威を振るっている中、改めて医療従事者の皆様には感謝と敬意を申し上げます。

死者5千人を越す中、ワクチン接種が3月下旬から予定されているようですが、医師・看護師らスタッフや接種会場の確保、態勢整備の財源、ワクチンの管理など多くの課題もあるようです。

しかし、よく考えてみると、過去にもいろいろな事態が起こっていたと歴史に残っています。

当時の先人たちは、その時にやるべきことを考え、克服してくれています。

私たちも今やるべきことは、皆が一つになって考え、対応していけば明るい未来はあるはずです。

（二階堂 猛）

【発行責任者】

議長 林 義明

【編集】

議会広報特別委員会

委員長 児玉 誠

副委員長 二階堂 猛

委員 池田 安彦

委員 古田 一博

委員 福永 伸親

